

## 植物スライサーを使った葉の断面の観察

中学校の植物の学習では、葉の断面を観察します。葉の断面のプレパラートを作るとき、できるだけ葉を薄く切る必要があります。葉を固定して、カミソリを動かす方法が主流ですが、生徒が行うにはとても難しく、なかなかいい切片ができません。そこで、台所にある野菜などを薄く切るフードプロセッサを参考に植物スライサーを作ってみました。

### 材料と準備物

#### 材料

- 下敷きまたはアクリル板などの透明な板
- かみそりの刃
- ネオジウム磁石 4 個

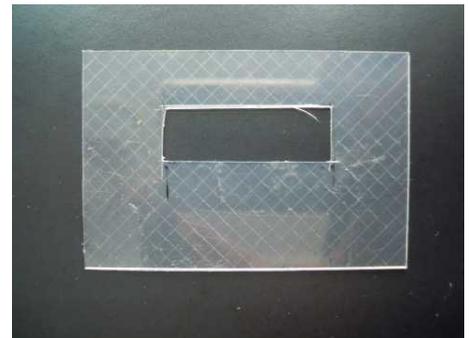
#### 準備物

- カッターまたはアクリルカッター
- カッター台
- 定規



### 作り方

- ①右の写真のように、下敷きまたはアクリル板などの透明な板を 4 cm × 6 cm 程度に切って、1 cm × 3 cm 程度の長方形を切り抜きます。
- ②その上に両刃カミソリを置いて、ネオジウム磁石で表と裏からはさみ、固定します。
- ③ペットボトルのキャップを下に置き切片受けとします。



### 使い方

- 試料を切るとき、カミソリの刃に垂直にあてるより、斜めからスライスしたほうがよく切れます。
- カミソリを水で濡らしておくとう滑りが良くなります。
- カミソリと切り込みとの間隔により切片の厚さが変わります。
- 葉を切るときは、1 枚ずつより何枚も重ねたほうが切りやすく、また、たくさんの切片をつくらることができます。

### その他

- 透明板は薄いものほど加工しやすいですが試料を切るときに安定しません。  
(写真は VHS テープのケースを使用しています。)
- 慣れてくれば、ネオジウム磁石で固定しなくても指で軽く押さえて切れるようになります。

